

2021 年 2 月 10 日

グリーンファイナンス・フレームワーク

1. 資金使途

資金使途の概要	日比谷フォートタワーの建設における事業費
適格性基準	以下の基準に適合することを検証します。 ① ICMA グリーンボンド原則 ② 環境省 グリーンボンドガイドライン ③ LMA/APLMA/LSTA グリーンローン原則 ④ 環境省 グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン その他の適格要件 ・ 適格クライテリア ➤ BELS 認証における 3 つ星以上
長期ビジョンにたった投資方針	■ 当社は、「安全の確保が社業の基盤」、「よいサービスと商品を社会に適正な価格で安定的に供給」、「取引先のニーズに迅速・的確に対応」、「社会的要請へ適応し環境に十分配慮」「株主、そして役職員へのリターン充実を目指し企業価値向上を志向」を経営理念として掲げ、経営理念に基づいた ESG 経営の実践を通じて、環境・社会等の課題の克服と SDGs への貢献に加え、持続的な社会の実現と企業価値向上を目指してまいります。 ■ 当社は、下記 3 つの環境方針を掲げています。 1. 地球温暖化防止 2. 大気汚染防止 3. 生態系の維持 また、具体策として以下取り組んでおります。 (海運業) ・運航船舶の温室効果ガス排出率削減（2030 年に向けて 2008 年比 40%削減）達成に向けロードマップ作成 (不動産業) ・所有ビルの CO2 排出率削減（2030 年に向けて 2008 年比 40%削減）達成に向けロードマップ作成 ・環境保全、生態系の維持（「イイノの森」、「日本ミツバチの養蜂」） ・廃棄物の削減、廃棄物のリサイクル率向上

	■当社は、中期経営計画（FY2020～FY2022）で、「サステナビリティへの取り組み」を重点目標として掲げており、ESGの「環境」に関する具体的な取り組みとして以下の事項を挙げております。 ○地球温暖化防止：GHG削減、カーボンオフセット ○大気汚染防止：NO_x（窒素酸化物）、SO_x（硫黄酸化物）削減 ○生態系の維持：バラスト水規制、海洋プラゴミへの対応
資金の調達方法と投資先	調達方法：50億円の債券発行並びに15億円の借入金により資金調達します。 投資先：日比谷フォートタワーの建設における事業費であり、2021年8月までに支払い予定

2. プロジェクトの選定基準とプロセス

適格プロジェクトの選定プロセス	・中期経営計画に基づき取り組んでいる日比谷フォートタワー建設事業への参画について、グリーンボンド及びグリーンローンによる調達資金の用途となる適格性の評価及び選定を経理部財務課にて行います。 ・プロジェクト選定の最終承認は取締役会が行います。
グリーンプロジェクトが環境に与えるネガティブな影響とその対処方法	1. 想定されるネガティブな影響 ・建設予定地における土壌汚染、工事に伴う騒音、振動等 2. 影響緩和対応 ・環境・社会に与えるネガティブな影響の可能性を低減するための調査の実施等
適格プロジェクトの選定基準およびプロセスの開示方法	・プロジェクトの選定基準および選定プロセスに関しては、訂正発行登録書又は、第三者評価レポートで投資家に開示予定です。

3. 資金管理

調達資金と資産の紐付方法	・調達資金は日比谷フォートタワーの建設における事業費に全額紐付けられます。 ・事業費のルックバック期間は2018年度以降とする。
調達資金の追跡管理の方法	・グリーンボンド起債、グリーンローン借入による調達資金は日比谷フォートタワー建設のために支出している事業費にそれぞれ調達後速やかに全額が充当される予定です。 ・調達された資金の充当と管理は経理部財務課が行います。資金の入出金については、社内経理規程並びに出納規程に沿って行われることを経理部財務課が確認します。グリーンプロジェクトへの充当状況を四半期単位で追跡管理します。調達資金の充当が決定されるまでの間は、

	資金と等しい額を銀行預金に一時的に預入し、現金および現金同等物にて管理します。 ・調達資金の管理については、専用の帳簿を作成し、社内文書保存規程に則り保管します。
追跡管理に関する内部統制および外部監査	・調達資金を全額日比谷フォートタワーの建設における事業費と紐づけることを取締役会で決議し、調達を行います。 ・充当状況及び未充当資金は四半期単位で追跡管理を行います。現金および現金同等物として管理を行い、経理部長の監督の下適切に管理されていることを確認します。調達資金の追跡管理については、経理部長並びに不動産開発企画部長、経営監査室長の承認を得ます。
未充当資金の管理方法	・調達資金の充当が決定されるまでの間は、調達資金は現金または現金同等物にて管理する旨を訂正発行登録書又は、第三者評価レポートで投資家に開示の予定です。

4. レポーティング

資金の充当状況に関する開示の方法	・調達された資金は起債並びに借入後速やかに全額を充当予定です。 資金の充当状況および環境改善効果として当社が定めた内容について、調達資金が全額充当されるまで年 1 回、資金充当状況並びに下記インパクト・レポーティングにおける KPI を当社ウェブサイトもしくは経営報告書上にて、年次で開示の予定です。
インパクト・レポーティングの開示方法および開示頻度	当社ウェブサイトもしくは経営報告書上にて、年次で開示予定です。
インパクト・レポーティングにおける KPI(key performance indicator)	・環境改善効果として以下のインパクト・レポーティングを予定しています。 ① （建設期間中）環境認証取得手続きの進捗状況 （竣工後）取得した環境認証 ② 消費電力 ③ 水使用量 CO2 排出量